

## 第 25 回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会 (ホール審査) 総評 コンチェルト I 部門

### ●審査員 A

子供たちがカルテットを合わせることで、楽しんで演奏している姿がほほえましかったです。I 部門ではなぜか「追憶」が圧倒的に多く、生き生きと表情豊かに演奏出来た方が入賞に結び付いたかと思います。「蝶々」は技術的に難しいところを見事に弾きこなされており感心しました。

全体にレベルが高く確実に演奏されており僅差でした。

コンチェルト部門に多くの方が参加して欲しいものです。

### ●審査員 B

ほとんどの演奏に好感をもちました。多くの参加者がカルテットと見事に協演し、伴奏によく耳を傾け、息の合った演奏をしていました。おそらく多くの参加者にとって、このような共演は初めてだったに違いありません。素晴らしかったです！拍を感じ、各パート美しいフレージングで音色を使い分けることを忘れないでください。そして、ペダルの使い過ぎには注意してください。カルテットと演奏すると、ソロのときよりもテクスチャーが密になるので、明瞭さを保ちましょう。主題を弾くときには明確に示し、ヴァイオリンがリードするときにはできるだけ美しく伴奏しましょう。がんばってください！次回は更に複雑で長い曲の演奏を楽しみにしています！皆さんは既に（次のステップへの）準備ができています。

### ●審査員 C

カルテットと楽しそうに演奏されている姿がとても素敵でした。皆さん音楽的にもテクニク的にも高いレベルの演奏でした。ただ、カルテットの響きに合わせながらも、もっと音色変化が出せるといいと思いました。客観的にカルテットとのバランスをとれると更によいです。アンサンブルのすばらしさを体を通して経験出来る素晴らしい機会だった事と思います。この経験を糧にこれからも音楽を更に深めていって下さい。

### ●審査員 D

皆さんの情熱的な演奏に大変好感が持てました。ただ、ソロと比べるとカルテットに負けないようにと考えてしまうことは当然かと思えます。これはごく自然な考え方だと思いますが、くれぐれも身体的な力を使い過ぎて、音が硬くなりすぎないように注意しましょう。豊かな音を得るためには、あくまでも（力まず）自然な重さの使い方を心がけてください。

●審査員 E

カルテットとのアジア大会をどれだけ楽しみにしてきたことでしょう！！気持ち晴れやかにぴしっとビシッとしてステージに立たれる子供達とそれを見守る家族の姿が沢山会場に訪れました。海外からも熱心におこし頂く姿にも感動します。テクニックがしっかりとしている方、アンサンブル力が身についている方、色々な日々の姿がみえる本番ですが、今ある姿はすぐに変えられるものではないし、1つ1つ経験を通してレベルアップしていくものだと思います。

●審査員 F

弦楽アンサンブルとの協演で楽しく表現出来ました。早い年齢からこの経験は大変素晴らしいことです。アジア大会への出場の方々の演奏は内容も充実してよく伝わりました。ユニゾンの響き、ブレスを大切にしてください。